

☆新着本の紹介☆

(TRCマーク情報より)

★『「さみしさ」の力』 榎本 博明／著

自分の内面に目が向かうようになる青年期。誰とも違う個性の自覚とともに、痛切な「さみしさ」が生まれてくる。さみしさの様相をとらえつつ、さみしさを糧にして自立という大きな心理的課題に取り組む方法について考える。(見4/371)



★『博士の愛したジミな昆虫』 金子 修治／編著

スター昆虫ではないけれど、ジミな虫たちだって、やってることはスゴすぎる! SF みたいなびっくり生態、植物やほかの虫たちとの複雑怪奇なからみ合い…。その謎を解いていくワクワクを、10人の昆虫博士たちが熱く語る。(見486)



★『繊細すぎてしんどいあなたへ』 申崎 真志／著

怒っている人が怖い、教室に居づらい…。繊細な気持ちに悩む若い人のために、繊細な性格の特徴と、それがどう長所になるかを解説。生きづらさや傷つきやすさを最小限に抑え、生きる力として活かす方法をアドバイスする。(見498)



★『欲が出ました』 ヨシタケ シンスケ／著

人間って「プチ欲」が出た時、何とも言えない顔をする。つつい考えすぎちゃう絵本作家が、「ネコにほめてもらいたい」「架空の島で休暇を取りたい」といったさまざまな「欲」をスケッチと共に書きとめる。(914/ヨ)



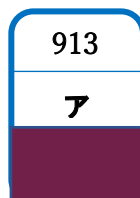
★『鴻上尚史のもっとほがらか人生相談』 鴻上 尚史／著

「隠居後、孤独で寂しくてたまりません」「リツイートやいいねの数を比べ、ひどい嫉妬心にかかられます」など27件の相談に、鴻上尚史が具体的で実行可能なアドバイスを贈る。『一冊の本』『AERA dot.』連載を書籍化。(914/コ)



★図書館利用ちょこっとメモ★

YA 世代に特に人気のある本(アニメや映画の原作等)の目印があります。ラベルの3段目に紫のライン!
返却カウンターの斜め前、携帯小説コーナーにも注目!



YA だより

残暑の厳しい9月、それでも朝晩、少しずつ秋の気配を感じられるようになりましたね。涼しい時間帯に読書はいかがでしょう?

◎今月のYAコーナーの特集は、

「みんなの防災」です。

1日は「防災の日」、8月30日から9月5日は、防災週間です。地震や、いろいろな災害について学び、災害に備えましょう。

“YAコーナー”は児童書コーナー入って左側
“YA特集”は児童書コーナーの右側の棚です

発行 西条市立東予図書館
住所 西条市周布427番地
TEL 0898-65-4797
開館時間 10:00~18:00

2020年9月号



みんなの防災



災害にあった時の家族との連絡方法、集合場所(自宅or避難所)の確認、自分の非常持出袋の準備(各自で)、非常食の用意(賞味期限の確認)など。まずは、できることからはじめてみては？

『いのちを救う災害時医療』

森村 尚登／著



災害大国・日本で起こる地震や台風などの災害時に、どうやって「いのち」を救うことができるのか。体制作りから、個人個人で何が出来るかまで、命を守る最前線の取組みをまとめる。(児 4/498)

『警視庁災害対策課ツイッター防災ヒント110』

日本経済新聞出版社／編



10円玉で袋を簡単に開ける方法、ペットボトルで簡単ランタン、かさばらないガムテープ...。災害時やものときに役立つ知恵と便利技を110紹介する。警視庁災害対策課のツイッターをもとに書籍化。

(369)

『自衛隊防災BOOK 2』

マガジンハウス／編集



人命救助、食料の確保や給水、緊急措置...。危機管理のプロ・自衛隊に伝わる、災害時のトラブルに対処するノウハウを、多数の写真でわかりやすく紹介する。日常生活に役立つテクニックも満載。(369/2)

『こどものための防災教室』

今泉 マユ子／著



災害の種類や身の守り方を説明すると共に、災害食を中心としたそなえについて詳しく解説。日常備蓄やサバイバルレシピを伝え、防災マップの作成や非常持出袋などについても紹介する。チェックリスト、備蓄品リストつき。(児 369)

『もしもごはん』

今泉 マユ子／著



2 災害時でもなるべく日常と同じ食事ができるように、備蓄に適した食材を使ったレシピが満載。災害発生～3日目、4日目～7日目、8日目以降というステップに分け、手間なし、洗いものなしのポリ袋調理による最適レシピを紹介。(369)

『災害ボランティア入門』

山本 克彦／編著



学生ボランティアとして知るべきことや、活動のイメージ、その体験を平常時の備えにどう活かすかを具体的に紹介。各地での災害ボランティア活動や災害に備えた防災・減災活動についても、豊富な実践事例を掲載する。(369)